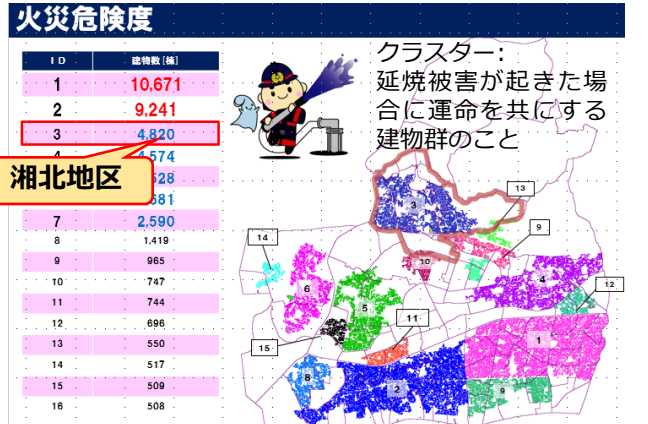


■ 湘北地区の市街地状況

湘北地区の地域特性や災害時の危険性について地図や数値から学びました。



茅ヶ崎市内の火災危険度（クラスター）を測定したところ、湘北地区内の建物から1件でも出火し、消火できなかった場合、4,820棟の建物が焼失してしまうという、市内でも3番目に多い結果が出ています。

■ 参加者の声 ※アンケートでいただいた主なご意見です。

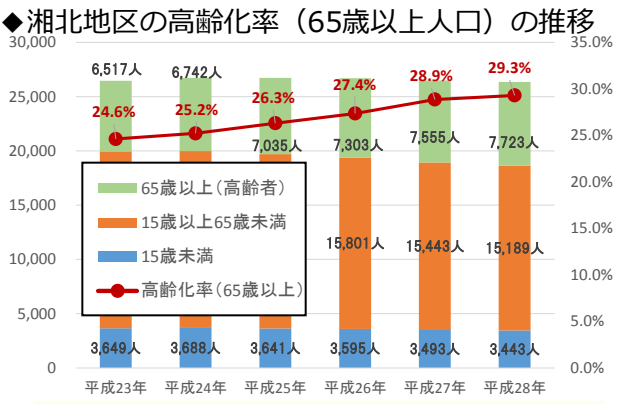
- 自分が住んでいる地域の危険度が少し高かったので、ぞっとしましたが、その中でも色々良い所を見つけることができました。
- 今回歩いてみて何mごとに消火水槽があるかが確認できました。よく通っている道でも知らないことはたくさんありました。
- 何気なくみている消火栓の使い方を知ったり、かまどベンチの使い方を知ることができました。
- 高齢者の目線になると、危ない所や段差などがあり、つまづいたら足などがポキッといきそう。もう少し段差などを減らしたらいいと思いました。
- いつも通っていた場所にボランティアセンターなどがあったことを知らなかったの、知ることが出来てよかったです。

■ 第2回ワークショップのまとめ（東京大学生産技術研究所 加藤先生）

普段見慣れているまちも、少し見かたを変えて、改めて見てみると意外と知らないこともたくさんあるし、色々な発見があったかと思います。今日のようにいつもとは少し違う目で普段の通学路などを見てみると、さらにたくさんの発見があるはず。防災“も”の目線で、一見防災とは関係ないけれど、防災にも役立つかもしれない、素晴らしいものがまちの中にないか見てきてください。

■ ワークショップの今後の予定 まだ参加されていない方のご参加も、お待ちしております！

回数	日付	時間	概要
第1回(終了)	平成28年10月23日	9:30~12:00 (150分)	加藤先生からの講演／体験学習 湘北地区防災“も”まちづくり研究所の設立式
第2回(終了)	平成28年12月3日	9:30~12:30 (180分)	湘北地区の市街地状況／防災“も”まち歩き
第3回	平成29年1月21日	9:00~12:00 (180分)	まち歩きマップを作ってみよう！／ 防災“も”まちづくりのアイデアを考えよう！
第4回	平成29年2月25日	9:30~12:00 (150分)	アクションプログラムをつくってみよう！ 防災まちづくりワークショップのまとめ



湘北地区内の65歳以上の人口は最新のデータでは7,723人、15歳未満の人口は3,443人。赤色の折れ線グラフで示した65歳以上の人の割合は増加傾向にあり、湘北地区は市全体の高齢化率24.9%より高い29.3%となっています。

自助（個人）・共助（地域）の視点から防災まちづくりについて考えてみませんか？

湘北地区「防災“も”まちづくりワークショップ」ニュース

Vol.2



湘北地区内でまち歩きを行いました！

茅ヶ崎市では、東京大学生産技術研究所の加藤孝明准教授のご協力のもと、平成21年度から「防災都市づくりワークショップ」（今年度から「防災“も”まちづくりワークショップ」に改称）を実施し、地域のみなさんと一緒に災害に強い都市づくりを進めております。

今年度は、湘北地区のみなさんと一緒に、全4回のワークショップを実施してまいります。ワークショップでは、鶴が台中学校の生徒の方々に多く参加していただき、湘北地区のまちづくりについて考えます。
2回目の今回は、湘北地区の防災、まちづくり、福祉に関わる施設や設備を見学し、まちの課題と良いところを見つけながら、まちを歩きました。

～第2回 湘北地区「防災“も”まちづくりワークショップ」で行ったこと～

◀はじめに▶
あいさつ
前回の振り返り

◀発表＆講評▶
まち歩きで取り組んだこと（参加者より）
加藤先生からのコメント

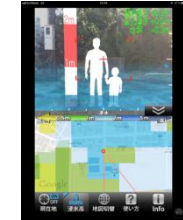
◀レクチャー▶
湘北地区の市街地状況

◀閉会▶
次回までのミッション
次回予告

◀まち歩き▶
「まちを見て、地域の危険や地域資源を知ろう！」

■ 防災“も”まち歩きの内容 ▶詳細は、2～3ページをご参照ください

- ✓ 研究室ごとにくじ引きで引き当てたミッションをクリアしながら、まちを歩きました。一つのミッションをクリアするごとに、次のミッションをくじで引き、最後は中学校に戻るようになっていました。
- ✓ 出発前にパソコンやタブレットで、まちの状況を確認しました。タブレットは、まち歩き中も持ち歩き、「天サイ！まなぶくん 茅ヶ崎版」（※）で情報を調べたり、写真を撮ったりしました。
- ✓ ミッションは、チェックポイントとルートなどが記されていて、チェックポイントでは、地域の方などから、お話を聞き、施設や設備の見学や体験をしました。



次回WSにて、今回のまち歩きの内容や見つけてきたまちの課題や良いところを、「まち歩きマップ」にまとめていきます。

※「天サイ！まなぶくん 茅ヶ崎版」
タブレット端末・スマートフォンのカメラで表示された画像に、防災情報（地震による地域危険度など）を重ね合わせて表示することができるアプリのこと。【左写真を参照】

ミッション①

地域の防災拠点である『香川諏訪神社』にある防災設備の使い方をマスターせよ。
なお、移動しながらまちの防災対策や危険について探れ。



香川諏訪神社では、地域の方からお話を聞くとともに、消火設備などの使い方を教わりました。

ミッション②

ここから南下し、鶴が台団地内の『お山の公園』へ向かえ。移動は、木造家屋が密集している場所を通り、危険箇所を探れ。



ブロック塀が続く道、家屋が密集して危険だと思われる場所などを見て歩きました。

ミッション③

鶴が台団地の『お山の公園』には、隠された機能がある。どのような機能があるか確認せよ。終わったら、中学校へ戻れ。



お山の公園にある設備について、地域の方からお話を聞くとともに、実際にどのように使われるのか見せていただきました。



地域福祉室

ミッション①

鶴が台団地の『お山の公園』には、隠された機能がある。どのような機能があるか確認し、使い方をマスターせよ



お山の公園にある設備について、地域の方からお話を聞くとともに、実際にどのように使われるのか見せていただきました。



まちづくり推進室

ミッション①

『五郎兵衛コミュニティパーク』へ車で移動し、太陽光発電の使い道について取材せよ。また災害時の活用方法を考えよ



太陽光発電について、NPOの方からお話を聞くとともに、実物を見させていただきました。

ミッション②

松風台は、計画的に家が建てられた住宅地である。車で移動し、松風台の街並み維持の秘密を探れ。



松風台の防災などの取組について、地域の方からお話を聞きました。

ミッション③

松風台南公園、甘沼地区、鶴が台団地を通り、それぞれの街並みの特徴を探れ。終わったら、中学校へ戻れ。



街並みや危険な場所について、地域の方からお話を聞きながら歩きました。



*まち歩きの最中は、各研究室とも、タブレットで「天サイ！まなぶくん」を見ながら、今いるところの危険などの情報を確認しました。



*まち歩きの最中は、中学生自身が、気になるところを写真で記録しました！
(写真は、まち歩きマップに使用します。)

防災対策室

ミッション②

鶴が台団地の中の歩き、名店街へ向かえ。移動しながら、高齢者の目線などから見て、団地の魅力と課題を探れ。



団地の良いところ、課題を見ながら歩きました。
団地で行われているシニアサロンなどのお話もありました。



ミッション③

湘北地区ボランティアセンターに行き、どのような活動を行っているか取材せよ。

ボランティアセンターの役割や活動について、センター長からお話を聞きました。



ミッション④

車いすで中学校へ帰還せよ。乗る人と押す人は、途中で交代しながら、全員が体験せよ。

車いすで移動した時に、ふつうに歩く場合には気付かない危険などを探しました。

